

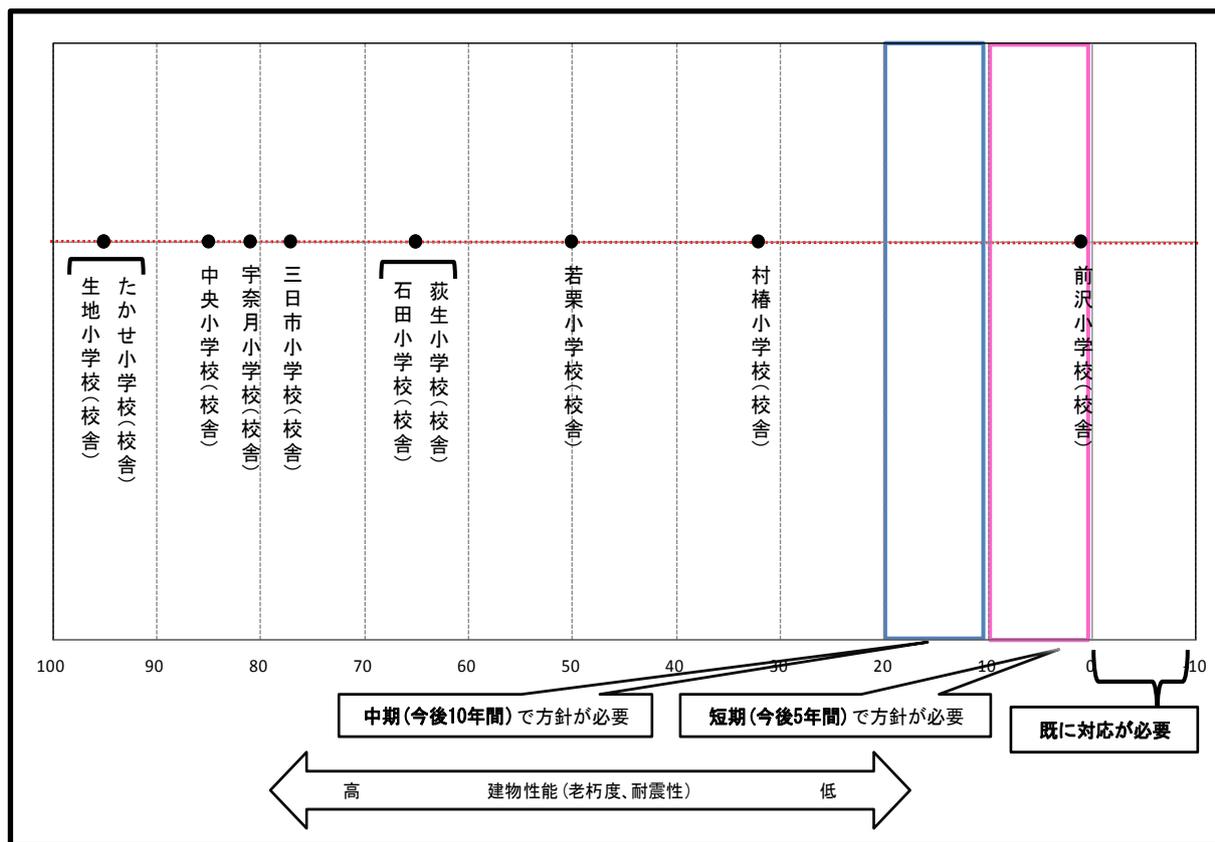
1. 小学校

■ 施設の概要

【校舎】

	建物性能				建物性能		
	老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点		老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点
生地小学校	5.0	○	95	たかせ小学校	5.0	○	95
石田小学校	35.0	○	65	村椿小学校	68.1	/	32
中央小学校	15.0	○	85	三日市小学校	23.4	/	77
前沢小学校	78.7	×	1	荻生小学校	35.0	○	65
若栗小学校	50.0	○	50	宇奈月小学校	19.1	/	81

■ 建物性能の評点分布図

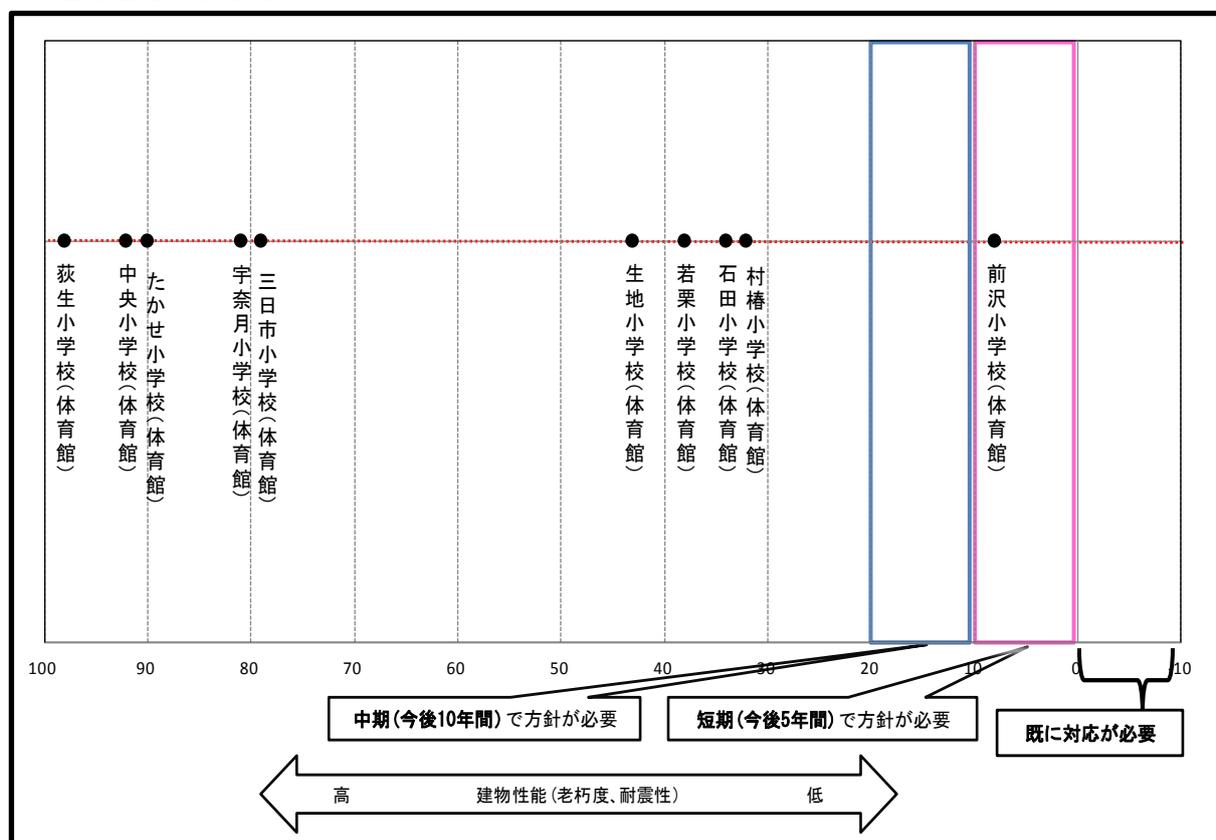


II 施設種別ごとの再編計画

【体育館】

	建物性能				建物性能		
	老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点		老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点
生地小学校	57.4	／	43	たかせ小学校	10.0	○	90
石田小学校	66.0	／	34	村椿小学校	68.1	／	32
中央小学校	8.5	／	92	三日市小学校	21.3	／	79
前沢小学校	72.3	×	8	荻生小学校	2.5	○	98
若栗小学校	61.7	／	38	宇奈月小学校	19.1	／	81

■ 建物性能の評点分布図



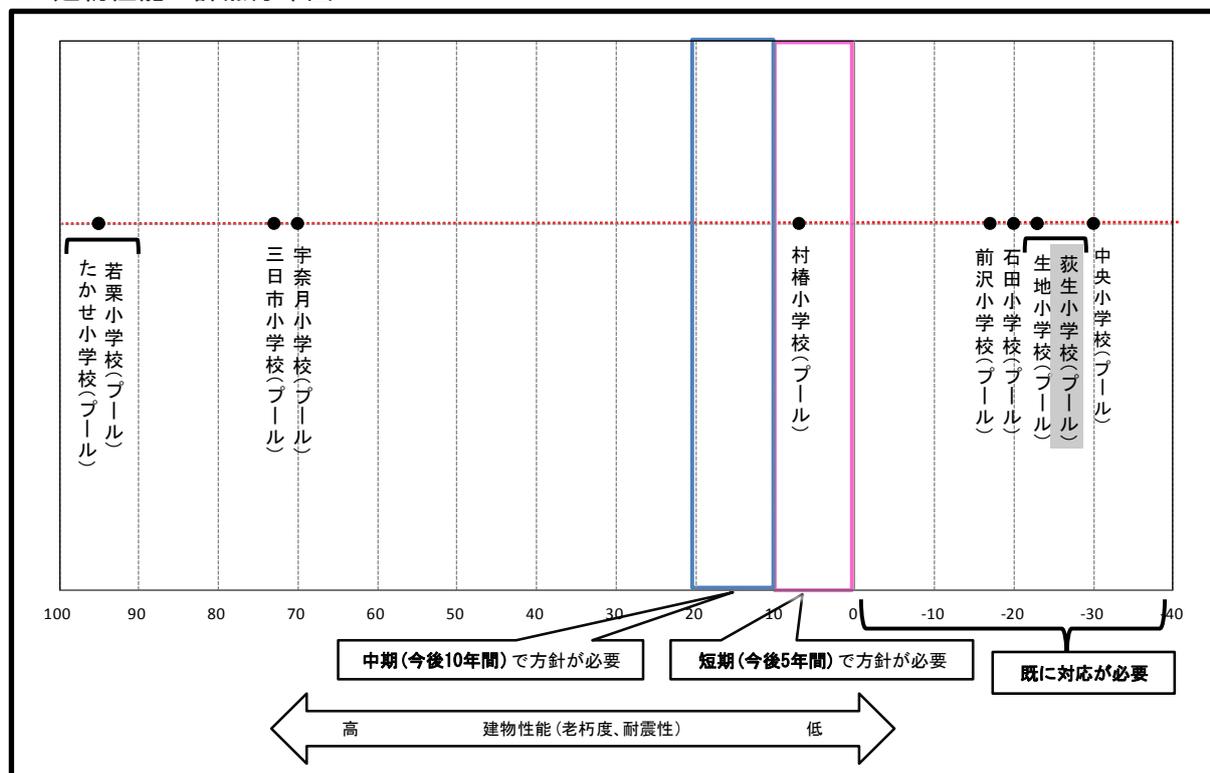
II 施設種別ごとの再編計画

【プール】

	建物性能				建物性能		
	老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点		老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点
生地小学校	123.3		-23	たかせ小学校	5.0		95
石田小学校	120.0		-20	村椿小学校	93.3		7
中央小学校	130.0		-30	三日市小学校	26.7		73
前沢小学校	116.7		-17	荻生小学校	123.3		-23
若栗小学校	5.0		95	宇奈月小学校	30.0		70

※荻生小学校プールは、平成26年度に大規模改修済み。

■ 建物性能の評点分布図



II 施設種別ごとの再編計画

□小学校（10施設）

1. 施設の評価	
【校舎】	
短期（～10点）	前沢(1)
中期（11～20点）	
長期（21点～）	村椿(32)、若栗(50)、石田(65)、荻生(65)、三日市(77)、宇奈月(81)、中央(85)、生地(95)、たかせ(95)
【体育館】	
短期（～10点）	前沢(8)
中期（11～20点）	
長期（21点～）	村椿(32)、石田(34)、若栗(38)、生地(43)、三日市(79)、宇奈月(81)、たかせ(90)、中央(92)、荻生(98)
【プール】	
短期（～10点）	中央(-30)、生地(-23)、荻生(-23)、石田(-20)、前沢(-17)、村椿(7)
中期（11～20点）	
長期（21点～）	宇奈月(70)、三日市(73)、たかせ(95)、若栗(95)
2. 用途別区分による再編方針	
<ul style="list-style-type: none"> 「黒部市立小中学校再編計画」（平成24年10月策定）に基づき推進する。 統合により学校機能を廃止した施設については、売却処分を基本とするが、大規模改修が必要となるまでの間は、管理運営方法も含めた地域合意のもとで、暫定的な活用も検討する。 	
3. 加味する固有の要因（「4. 再編計画」・「5. 特記事項」に追加反映すべき内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ☞ プールについては、多くの施設で老朽化が著しい。 ☞ 荻生小学校プールは、平成26年度に大規模改修済み。 	
4. 再編計画（「黒部市立小中学校再編計画」より抜粋）	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 短期（H28～H32 対応） <前沢小＋三日市小> 平成28年4月に統合し、統合後に使用する学校施設は、現在の三日市小学校とする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 長期（H28～H67 対応） <荻生小＋若栗小> 児童数の減少が見込まれる近接する荻生小と若栗小との統合を検討する。 <村椿小＋生地小> 児童数の減少が見込まれる村椿小と、最も近い生地小との統合を検討する。 </div>	
5. 特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> 再編計画との整合性を図りながら、各プールの劣化度調査を踏まえた長寿命化に取り組みます。 	

II 施設種別ごとの再編計画

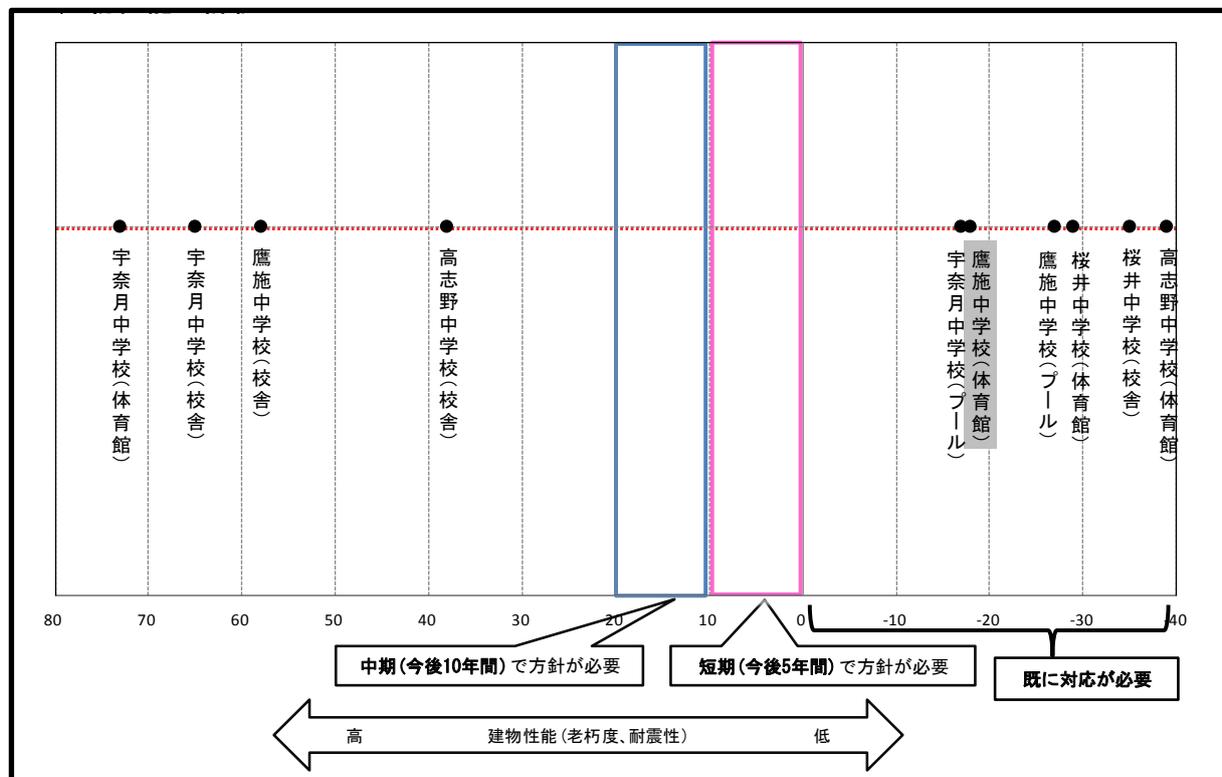
2. 中学校

■ 施設の概要

	建物性能				建物性能		
	老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点		老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点
【校舎】							
鷹施中学校	42.5	○	58	高志野中学校	61.7	/	38
桜井中学校	114.9	×	-35	宇奈月中学校	35.0	○	65
【体育館】							
鷹施中学校	97.9	×	-18	高志野中学校	119.1	×	-39
桜井中学校	108.5	×	-29	宇奈月中学校	27.5	○	73
【プール】							
鷹施中学校	126.7	/	-27	高志野中学校	/	/	/
桜井中学校	/	/	/	宇奈月中学校	116.7	/	-17

※鷹施中学校体育館は、平成26年度に耐震補強・大規模改修済み。

■ 建物性能の評点分布図



Ⅱ 施設種別ごとの再編計画

□中学校（4施設）

1. 施設の評価	
【校舎】	
短期（～10点）	桜井(-35)
中期（11～20点）	
長期（21点～）	高志野(38)、鷹施(58)、宇奈月(65)
【体育館】	
短期（～10点）	高志野(-39)、桜井(-29)、鷹施(-18)
中期（11～20点）	
長期（21点～）	宇奈月(73)
【プール】	
短期（～10点）	鷹施(-27)、宇奈月(-17)
中期（11～20点）	
長期（21点～）	
2. 用途別区分による再編方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「黒部市立小中学校再編計画」（平成24年10月策定）に基づき推進する。 ・ 統合により学校機能を廃止した施設については、売却処分を基本とするが、大規模改修が必要となるまでの間は、管理運営方法も含めた地域合意のもとで、暫定的な活用も検討する。 	
3. 加味する固有の要因（「4. 再編計画」・「5. 特記事項」に追加反映すべき内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ☞ 桜井中学校は、校舎は平成28年度、体育館は平成30年度、グラウンド・外構を含めた全体では平成31年度に完成予定。 ☞ 高志野中学校体育館は、平成27年度に完成予定。 ☞ 鷹施中学校体育館は、平成26年度に耐震補強・大規模改修済み。 ☞ プールについては、4校とも平成23年度から廃止済み。 	
4. 再編計画（「黒部市立小中学校再編計画」より抜粋）	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 短期（H28～H32対応） </div> <p>＜宇奈月中＋桜井中＞ 平成32年4月に統合し、統合校の位置は、現在の桜井中学校とする。</p> <p>＜鷹施中＋高志野中＞ 平成32年4月に統合し、統合校の位置は、現在の高志野中学校とする。</p>	
5. 特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	

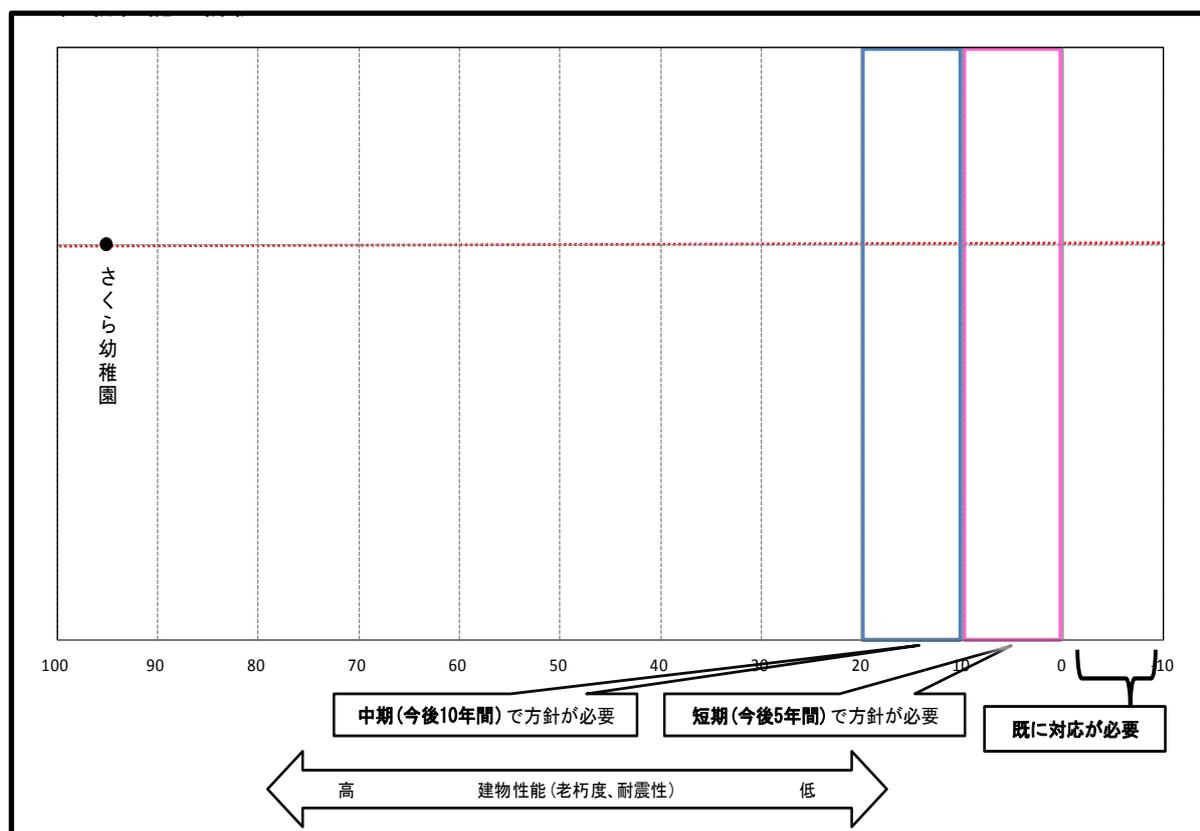
II 施設種別ごとの再編計画

3. 幼稚園

■ 施設の概要

	建物性能				建物性能		
	老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点		老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点
さくら幼稚園	5.0	○	95	生地幼稚園 (生地こども園に記載)			
石田幼稚園 (石田こども園に記載)							

■ 建物性能の評点分布図



Ⅱ 施設種別ごとの再編計画

□幼稚園（1施設）

1. 施設の評価	
短期（～10点）	
中期（11～20点）	
長期（21点～）	さくら(95)
2. 用途別区分による再編方針	
・ 幼保一元化、民間による設置運営を推進する。	
3. 加味する固有の要因（「4. 再編計画」・「5. 特記事項」に追加反映すべき内容）	
☞ 「黒部市保育・教育あり方検討委員会」中間提言（平成23年3月30日）を踏まえ、平成25年4月1日に「三日市幼稚園」と「中央幼稚園」を統合し、「さくら幼稚園」を設置。	
☞ 幼保一元化については、現在、国において議論が本格化している。	
4. 再編計画	
長期（H28～H67対応）	
・ <u>長寿命化</u> への対応により、建物性能を確保しながら、機能を維持します。	
5. 特記事項	
・ 国において検討している幼保一元化の動向も踏まえ、総合的な就学前児童の保育、教育の実現を図ります。	

II 施設種別ごとの再編計画

4. 公民館

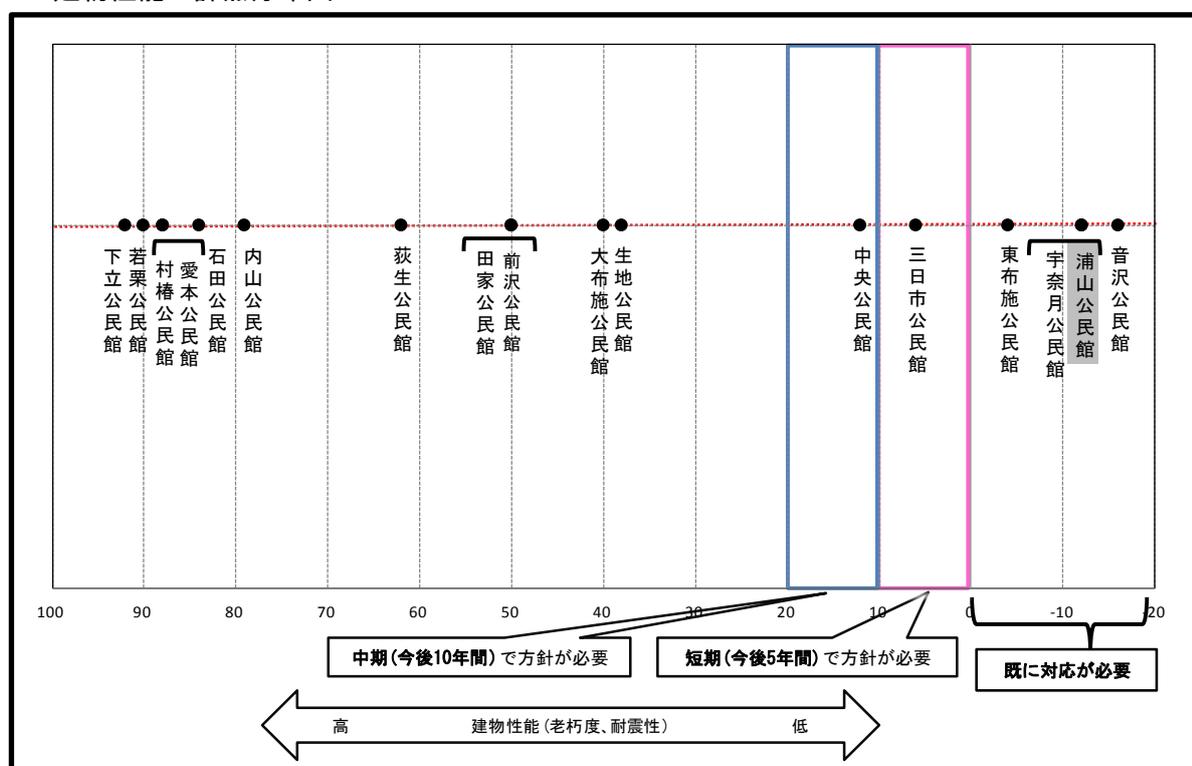
■ 施設の概要

【公民館】

	建物性能				建物性能		
	老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点		老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点
中央公民館	68.0	△	12	生地公民館	62.0	/	38
石田公民館	16.0	/	84	田家公民館	50.0	/	50
東布施公民館	84.0	△	-4	荻生公民館	38.0	/	62
若栗公民館	10.0	/	90	大布施公民館	60.0	/	40
村椿公民館	12.5	○	88	三日市公民館	74.0	×	6
前沢公民館	50.0	/	50	宇奈月公民館	92.0		-12
音沢公民館	96.0	×	-16	内山公民館	20.8		79
愛本公民館	12.0	/	88	下立公民館	8.3	/	92
浦山公民館	92.0	△	-12				

※浦山公民館は、平成 26 年度に建替済み。

■ 建物性能の評点分布図

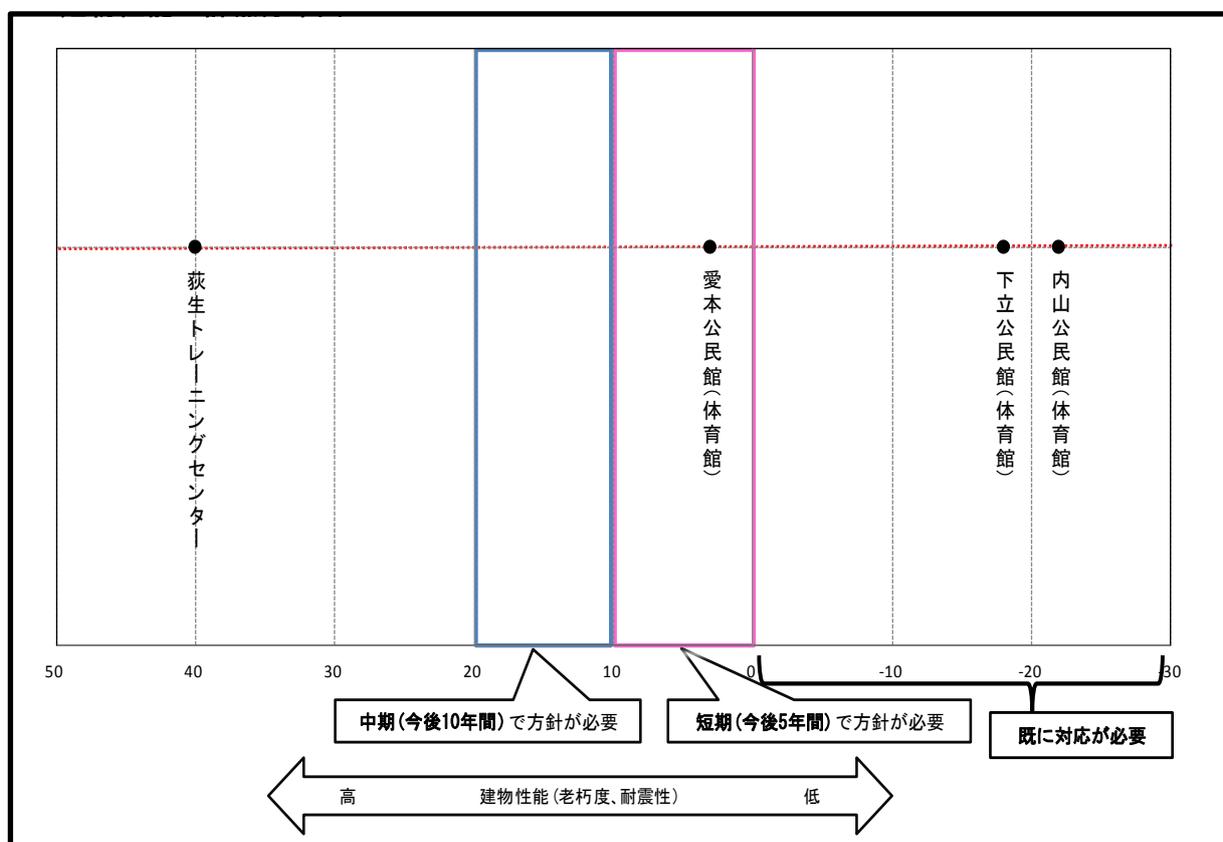


II 施設種別ごとの再編計画

【体育館】

	建物性能				建物性能		
	老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点		老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点
荻生トレーニングセンター	59.6	／	40	内山公民館 体育館	102.1	△	-22
愛本公民館 体育館	76.6	△	3	下立公民館 体育館	97.9	△	-18

■ 建物性能の評点分布図



II 施設種別ごとの再編計画

□公民館（17施設）

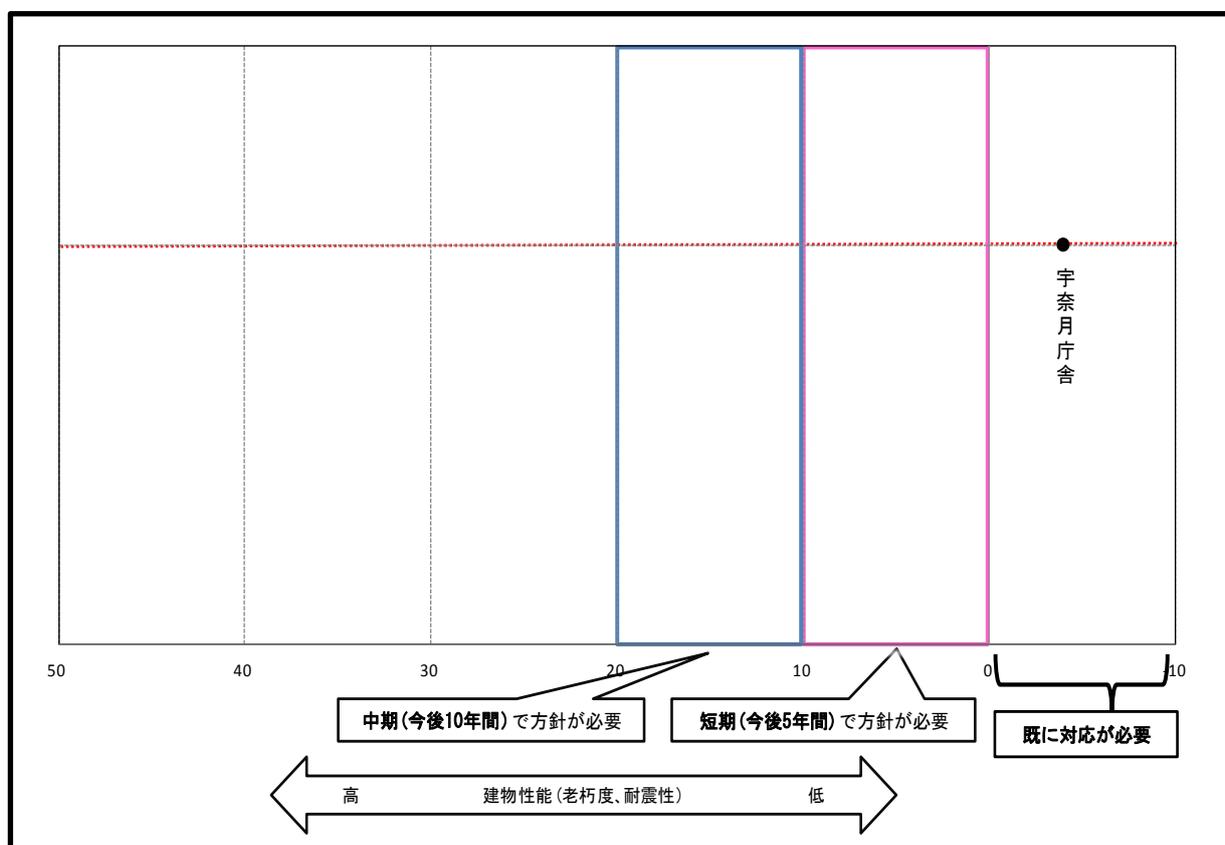
1. 施設の評価	
【公民館】	
短期（～10点）	音沢(-16)、宇奈月(-12)、浦山(-12)、東布施(-4)、三日市(6)
中期（11～20点）	中央（12）
長期（21点～）	生地(38)、大布施(40)、田家(50)、前沢(50)、荻生(62)、内山(79)、石田(84)、村椿(88)、愛本(88)、若栗(90)、下立(92)
【体育館】	
短期（～10点）	内山(-22)、下立(-18)、愛本(3)
中期（11～20点）	
長期（21点～）	荻生(40)
2. 用途別区分による再編方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ活動の核であり、各地域において重要な役割を担っていることから、類似施設との統廃合や複合化、機能集約を検討し、住民の最も身近な行政サービス拠点として、多用途利用を図る。 	
3. 加味する固有の要因（「4. 再編計画」・「5. 特記事項」に追加反映すべき内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ☞ 物理的な耐用年数の到来までに若干の時間的余裕があると思われるが、現行の耐震基準を満たしていない施設がある。 ☞ 公民館とともに学校体育施設がコミュニティ活動の一部を担っていることから、学校再編計画との整合性を図りながら、公民館活動事業におけるスポーツ・レクリエーション（暫定的に利用している旧小学校体育館を含む）機能のあり方を検討する必要がある。 ☞ 浦山公民館は、平成26年度に建替済み。 	
4. 再編計画	
短期（H28～H32 対応）	中期（H28～H37 対応）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震補強や大規模改造など長寿命化に取り組み、建物性能を確保しながら、機能を維持します。 ただし、劣化度調査の老朽化が著しく、長寿命化が困難な場合や費用比較等で優位な場合に限り建替え、複合化により機能集約、連携体制の強化を図ります。 	
長期（H28～H67 対応）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 長寿命化への対応により、建物性能を確保しながら、機能を維持します。 	
5. 特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ・レクリエーション機能については、学校再編後における学校体育施設の受け皿としての位置づけも踏まえ、多用途利用を図ります。 	

10. 市役所庁舎

■ 施設の概要

	建物性能				建物性能		
	老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点		老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点
黒部庁舎 (新庁舎)				宇奈月庁舎	84.0	△	-4

■ 建物性能の評点分布図



II 施設種別ごとの再編計画

□市役所庁舎（2施設）

1. 施設の評価	
短期（～10点）	宇奈月庁舎(-4)
中期（11～20点）	
長期（21点～）	新庁舎(/)
2. 用途別区分による再編方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新庁舎が建設中であり、分庁舎の統合等、その動向や方向性を踏まえ、規模の適正化や周辺施設との統廃合や複合化、機能集約を検討する。 	
3. 加味する固有の要因（「4. 再編計画」・「5. 特記事項」に追加反映すべき内容）	
<ul style="list-style-type: none"> ☞ 総合庁舎は、平成27年10月10日に完成式、10月13日から執務開始予定。 ☞ 宇奈月地域に「宇奈月市民サービスセンター」としてサービス提供を継続していく必要がある。 ☞ 宇奈月庁舎のうち旧館部分（1,392.16㎡）は、物理的な耐用年数の到来までに若干の時間的余裕があると思われるが、現行の耐震基準を満たしていない。 ☞ 宇奈月庁舎のうち新館部分（2,420.76㎡）は、老朽化率は58%で、現行の耐震基準を満たしている。 	
4. 再編計画	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 短期（H28～H32 対応） <宇奈月庁舎旧館> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模改修等の必要性が見込まれる時点で、建物を解体し、機能を廃止します。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 長期（H28～H67 対応） <宇奈月庁舎新館> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長寿命化への対応により、建物性能を確保しながら、機能を維持します。 ただし、劣化度調査の結果、老朽化が著しく、長寿命化が困難な場合や費用比較等で優位な場合に限り建替え、複合化により機能集約、連携体制の強化を図ります。 </div> <div> <新庁舎> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長寿命化への対応により、建物性能を確保しながら、機能を維持します。 </div>	
5. 特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし。 	

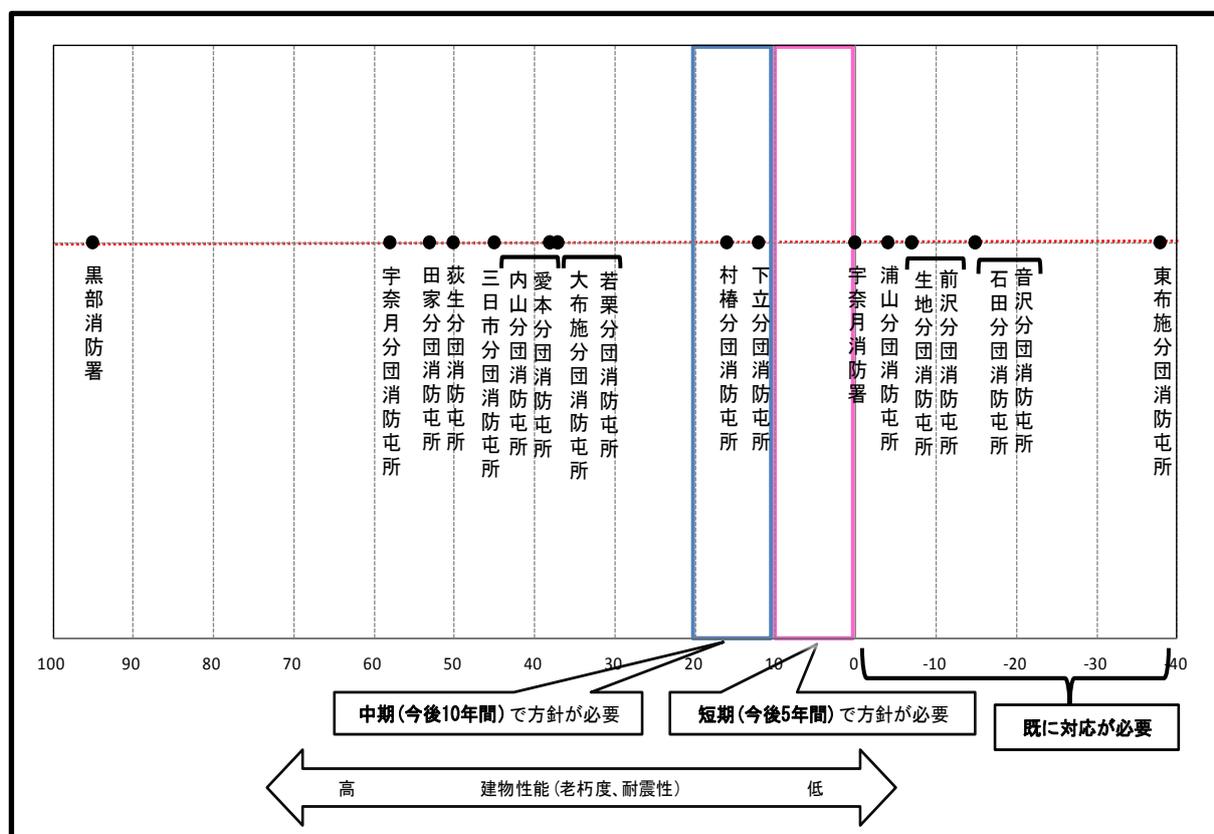
II 施設種別ごとの再編計画

1.1. 消防庁舎

■ 施設の概要

	建物性能				建物性能		
	老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点		老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点
黒部消防署	5.3	／	95	宇奈月消防署	80.0	△	0
三日市分団消防屯所	55.3	／	45	生地分団消防屯所	86.8	△	-7
石田分団消防屯所	94.7	△	-15	田家分団消防屯所	47.4	／	53
村椿分団消防屯所	84.2	／	16	大布施分団消防屯所	63.2	／	37
前沢分団消防屯所	86.8	△	-7	荻生分団消防屯所	50.0	／	50
若栗分団消防屯所	63.2	／	37	東布施分団消防屯所	118.4	△	-38
宇奈月分団消防屯所	42.0	／	58	音沢分団消防屯所	94.7	△	-15
内山分団消防屯所	62.0	／	38	愛本分団消防屯所	62.0	／	38
下立分団消防屯所	68.0	△	12	浦山分団消防屯所	84.0	△	12

■ 建物性能の評点分布図



II 施設種別ごとの再編計画

□消防庁舎（18 施設）

1. 施設の評価	
【消防署】	
短期（～10 点）	宇奈月(0)
中期（11～20 点）	
長期（21 点～）	黒部(95)
【分団消防屯所】	
短期（～10 点）	東布施(-38)、石田(-15)、音沢(-15)、生地(-7)、前沢(-7)、浦山(-4)
中期（11～20 点）	下立(12)、村椿(16)
長期（21 点～）	大布施(37)、若栗(37)、内山(38)、愛本(38)、三日市(45)、荻生(50)、田家(53)、宇奈月(58)
2. 用途別区分による再編方針	
<ul style="list-style-type: none"> 現状の行政区単位での配置を基本とする。 	
3. 加味する固有の要因（「4. 再編計画」・「5. 特記事項」に追加反映すべき内容）	
<ul style="list-style-type: none"> 消防庁舎は市民の生命・財産の保護に直結した施設であるため、消防署、分団消防屯所は現在の体制を維持する。 特定の利用形態である。 	
4. 再編計画	
【消防署】	<p>短期（H28～H32 対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震補強や大規模改造など<u>長寿命化</u>に取り組み、建物性能を確保しながら、機能を維持します。 ただし、劣化度調査の結果、老朽化が著しく、長寿命化が困難な場合や費用比較等で優位な場合に限り建替え、複合化により機能集約、連携体制の強化を図ります。
	<p>長期（H28～H67 対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>長寿命化</u>への対応により、建物性能を確保しながら、機能を維持します。
【分団消防屯所】	<p>短期（H28～H32 対応） 中期（H28～H37 対応） 長期（H28～H67 対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状の利用形態に鑑み、当面現状のまま維持しながら、劣化度調査による優先度を踏まえ、<u>長寿命化</u>に取り組みます。 ただし、劣化度調査の結果、老朽化が著しく、長寿命化が困難な場合や費用比較等で優位な場合に限り建替え、複合化により機能集約、連携体制の強化を図ります。
5. 特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 	

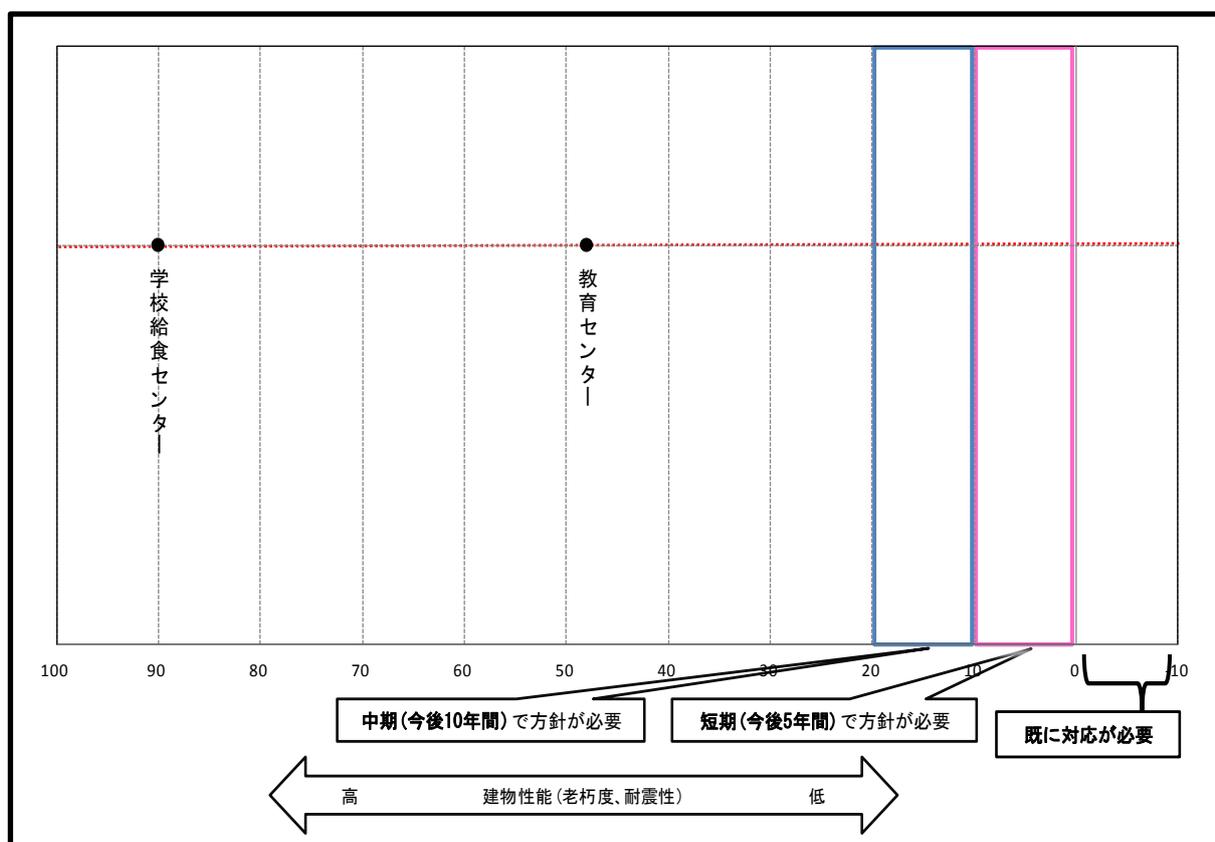
II 施設種別ごとの再編計画

12. その他庁舎

■ 施設の概要

	建物性能				建物性能		
	老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点		老朽化率 (%)	耐震化への対応	評点
教育センター	52.0	/	48	学校給食センター	10.5	/	90

■ 建物性能の評点分布図



Ⅱ 施設種別ごとの再編計画

□その他庁舎（2施設）

1. 施設の評価	
短期（～10点）	
中期（11～20点）	
長期（21点～）	教育センター(48)、学校給食センター(90)
2. 用途別区分による再編方針	
・ 現状を維持する。	
3. 加味する固有の要因（「4. 再編計画」・「5. 特記事項」に追加反映すべき内容）	
☞ 特になし。	
4. 再編計画	
長期（H28～H67対応）	
・ <u>長寿命化</u> への対応により、建物性能を確保しながら、機能を維持します。	
5. 特記事項	
・ 特になし。	